

トラガールラップトラ納車式



記念写真に納まる沢田社長（右から2人目）と丹生さん（その左）

「女性が働ける会社」PR

【千葉】ロジックスライン（沢田秀明社長、千葉県成田市）は3月28日、2ト車と10ト車の納車式を開いた。2ト車の投入は同社初。最初のステップとして新人ドライバーに業務してもらい、日々の業務を通してスキルを磨いてもらう。また、10ト車、2ト車

となる女性ドライバーが入社したが、ラッピングトラックを通してドライバー職が女性も働ける仕事であることをPRしていく。

沢田社長は「現状では女性の大型ドライバーが当社にはいない。今後、ラッピングトラックを通して、トラックに乗りたいと思う人が少しでも当社に来てくれたらうれし」と話す。

増車した2ト車は、同社で初めてオリンピッククランバーを採用。従業員のおいで、4月から勤務する新入社員がハンドルを握る。10ト車に

ロジックスライン

は、入社から1年が経過したドライバーの丹生光さんが乗務。未経験で入社し、運転スキルの向上に日々努めているが、仕事に対する姿勢への評価と今後の期待から、入社後1年で新車を任せられることになった。

をアピールしていく。物流業界で高齢化や人手不足が深刻化する中、同社では若手や女性を積極的に採用する方針で、現在、女性や未経験者、若者も働ける労働環境の整備を進めている。この一環として今回、同社初の2ト車を導入。教習車と位置づけ、若手がステップアップするための第1段階として運用していく。

また、トラガールをイメージしたデザインをトラックにラッピング。1月に3年ぶりに乗務していきたい」と述べた。

（井内亨）